

①事業実施報告書詳細

事業実施報告書詳細

学校名 鹿沼市立清洲第一小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2時間	各教室	<p>●「清洲の自慢できるところをさがそう」の計画をたてる。</p> <p>①学年のテーマに沿って、各自、どんな写真を撮りたいのかを考え、発表する。</p> <p>②そう考えた理由を発表し合い、テーマの焦点化を図る。</p> <p>以下は学年ごとのテーマである。</p> <p><3年>清洲のよさを発見しよう</p> <p><4年>思川をまもろう</p> <p><5年>ふるさとのくらしをみつめよう</p> <p><6年>ふるさとを見直そう</p>	<p><6年 調査した結果をどう表現するかを出し合った板書></p>  <p><5年> グループごとの話し合いのようす</p> 	<p>○テーマがはっきりしているので、学習課題がしっかりとつかめた。</p> <p>○いつも見慣れている光景や人に注目しようとする意欲がわいていた。</p>
2時間	学区域	<p>●学区域に出て「清洲の自慢できるところをさがそう」のまち探検に出かける。</p> <p><3年> 伝統ある店を見学し、働く人から話を聞き、記録する。</p> <p><4年> 思川を探検し、川の周囲の環境や豊かな川について調べ記録する。</p> <p><5年></p>	 	<p>○風景、光景を見るだけではなく、それに関わる人からの話を聞くことができたので、より地域への思いを感じることができた。</p> <p>○どの学年も熱心に話を聞いたり、調べることができた。</p> <p>○体験をさせても</p>

		<p>農業、特に稲作について体験を通して調べ、その風景を記録する。</p> <p><6年> 学区の歴史やそのを保存している人からの話を聞き記録する。</p>		<p>らったが、写真での記録を忘れそうになった。</p> <p>○文化財や伝統あるものを引き継ぐ方の話を聞いて感心していた。</p>
2時間	各教室	<p>●発表する準備を行う。</p> <p>①撮影した写真を選ぶ。</p> <p>②コメント（学習したことや感想）を考える。</p> <p>※5年生は、国語の時間に俳句を作った。</p>		<p>○学んだことを短くまとめたり、何が清洲のよさなのかを表現することを一生懸命に考えていた。</p>
1時間	体育館等	<p>●各学年、様々な方法で発表する。（学校祭）</p> <p><全学年共通> 写真をフレームに入れ、コメントを付けて掲示した。</p> <p><4年・5年> 調べた成果を、全児童・保護者や地域の方に発表する。</p>		<p>○フレームに入れた写真を、各保護者や地域の方は、感心しながら見学をしていた。</p> <p>○地域の方や保護者に発信できたことの喜びを感じていた。</p> <p>○他学年の発表から、清洲のよさに気づき、教室に戻ってからも話題になった。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>①単年度のみの実施に終わらせないよう、現在の総合的な学習の時間の学習計画にこの取り組みを追加したこと。</p> <p>②本校は、表現力の育成を学校課題としている。単年度のみでは育成することが困難であるため、3年生から6年生までの4年間を通じ本学習を実施するようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>①各学年の発達段階、学級担任の授業展開力、児童の実態により、学習の「展開」通りにはことが困難であった。実際には、各学年で使った時間には差が見られた。(これは、全児童や保護者等への発表を、写真やコメントの展示だけではなく、学習発表として実施した学年があったからでもある)</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>①普段に生活をしている地域(清洲)に足を運び、現物をじっくりと見て、地域の方からの地域愛にあふれる話や説明を聞き、本地域のすごさを感じることができた。</p> <p>②他学年の発表を見たり、聞いたりすることでも、間接的に本地域のよさを感じ、知ることができたようである。</p> <p>③3～6年が撮影した写真を発表後に、各家庭に持ち帰ったが、家庭でその写真の説明をしたり、学んだことを保護者に伝える児童もいた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>①メインテーマ、サブテーマ(ともに各学年の総合のテーマである)が、学習成果をどう表現したらよいかかわからない、迷っていた教員がいた。本助成の「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」の表現方法を参考にすることにより、どのようにまとめたらよいか、シンプルにわかることができた。「よい手法だ!」という声が聞かれた。</p> <p>②総合で地域学習を行っているが、本助成を通じ「わたしたちのまちに対する考えや愛着」を学習することの大切さを学んだと思われる。</p> <p>③教員も地域の良さを知りたいと思い、本地域の風景や残したい光景など意識的に見るようになってきた。また、地域の方との会話も増加した。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>①今後は、前述の通り継続的に実施していくが、3・4年生はこのプログラム(NO.8)の継続でよいと思われるが、5・6年生は他のプログラムを参考に実施していくと、さらに思考や表現力が高まるのではないかとと思われる。</p> <p>②4・5年生は、学習発表会で、全児童、全保護者、地域の方に対して発表した。今後多くの方に学んだことを発信することにより、児童自身もちろん、聞く側のも知ってもらい愛着を持たせるようにさせたい。</p> <p>③5年生が、探検・体験して知ったことや学んだことを、俳句で表現した。このように表現方法も工夫する余地がある。多くの事例を提示できるようにしたい。</p>